



QPS 9.0 ReadMe

目次

QPS 9.0 ReadMe	5
QPSコンポーネント	6
このバージョンで更新されたコンポーネント.....	6
互換性マトリクス.....	6
サーバーコンポーネント.....	7
その他のオプションのコンポーネント.....	8
クライアントコンポーネント.....	8
必要システム構成	9
QPS Server : Mac OS	9
ハードウェア.....	9
ソフトウェア.....	9
サポート対象のプラットフォーム*.....	10
QPS Server : Windows	10
ハードウェア.....	10
ソフトウェア.....	10
サポート対象のプラットフォーム*.....	10
QPS Database*	11
QPS File Server : Mac OS	11
ハードウェアオプション.....	11
ソフトウェア.....	11
サポート対象のプラットフォーム*.....	11
QPS File Server : Windows	12
ハードウェア.....	12
ソフトウェア.....	12
サポート対象のプラットフォーム*.....	12
QPS File Server : Solaris	12
ハードウェア.....	12
ソフトウェア.....	13
QPS Connect Client : Mac OS	13
ハードウェア.....	13
ソフトウェア.....	13
サポート対象のプラットフォーム*.....	13
QPS Connect Client : Windows	13
ハードウェア.....	13
ソフトウェア.....	13
サポート対象のプラットフォーム*.....	13
QPS Web Hub	14

推奨ハードウェア構成	15
小規模のQPSトラフィック	15
中規模のQPSトラフィック（オプション1）	16
中規模のQPSトラフィック（オプション2）	16
大規模のQPSトラフィック.....	17
QPSソフトウェアのインストール	19
QPS Serverのインストール	19
Mac OS.....	19
Windows.....	20
QPS Script Manager.....	22
QuarkXPress Serverのインストール	22
QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール	22
Mac OS.....	23
Windows.....	23
QPS Databaseのインストール	23
QPS Databaseのインストール – HSQL DB.....	23
WindowsでのQPS Databaseのインストール – MS SQL Server.....	23
WindowsでのQPS Databaseのインストール – Oracle.....	24
Linux上のOracleのQPSスキーマの設定.....	25
QPS Connect Clientのインストール	26
Mac OS.....	26
Windows.....	26
QPS XTensionsソフトウェアの手動でのインストール	27
Mac OS.....	27
Windows.....	29
インストール後に変更を行うには	30
QuarkXPress Serverロケールの識別.....	30
QuarkXPress Serverの更新.....	31
QPS Connect Clientのインストール内容の更新: Windows.....	31
QPS ServerへのRAMの割り当て.....	32
QPS 9.0へのアップグレード	34
QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのアップグレード	34
QPS Serverのアップグレード（Mac OS）	34
QPS Serverの更新（Windows）	35
QPS Databaseのアップグレード	36
QPS Databaseのアップグレード（Windows）：MS SQL ServerまたはOracle.....	36
QPS Databaseのアップグレード（Linux）：Oracle.....	36
QPS XDKのドキュメント	37
QPS Serverの起動	38
Mac OS.....	38

Windows.....	38
QXP Serverの再起動の自動化.....	38
アンインストール.....	40
QPS Serverのアンインストール.....	40
Mac OS.....	40
Windows.....	40
QPS Connect ClientおよびQPS XTensionsソフトウェアのアンインストール	40
Mac OS.....	40
Windows.....	42
このバージョンにおける変更点.....	43
QPS Serverの変更点.....	43
ワークスペースブラウザウィンドウの変更点.....	43
QPS Web Hubの変更点.....	43
QPS XTensionsソフトウェアの変更点.....	44
既知および解決済みの問題.....	46
Quarkへの連絡.....	47
南北アメリカ.....	47
南北アメリカ以外の国々.....	47
オーストラリア.....	48
法律上の注記.....	49

QPS 9.0 ReadMe

Quark Publishing System® (QPS®) を導入すれば、ワークグループの出版者はアプリケーションやサーバーのネットワークシステムを介してファイルやタスクを統合できるようになります。本書には、ハードウェア要件およびソフトウェア要件の評価、環境の準備、およびQPSのインストールに関する重要な情報が含まれています。

QPSを初めてインストールする場合は、以下の順序で各コンポーネントをインストールする必要があります。

手順	ノート
QPS Server 9.0をインストールするか、QPS Server 8.1.6以降のバージョンを9.0にアップグレードします。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QuarkXPress® Server 9.0をインストールします。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QuarkXPress Server 9.0用QPS XTensions®をインストールします。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QPS Databaseをインストールします。	詳細は、「 QPS Databaseのインストール 」を参照してください。
QuarkXPress 9.0をインストールします。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QuarkCopyDesk® 9.0をインストールします。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)
QPSクライアントソフトウェア9.0をインストールします。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing System (QPS)

➡ qallianceftp.quark.comにアクセスできない場合は、enterprisesupport@quark.com宛てにメールでお問い合わせください。

QPSコンポーネント

QPSには、サーバーコンポーネントおよびクライアントコンポーネントが含まれています。これらのコンポーネントは、下記のハードウェアおよびソフトウェアの構成で正常に動作することが確認されています。

このバージョンで更新されたコンポーネント

このセクションでは、このリリースで更新されているコンポーネントを示します。このリストに含まれていないコンポーネントは、このリリースでは更新されていません。

- QPS Server
- QuarkCopyDesk
- QuarkXPress
- QuarkXPress Server
- QuarkXPress Server用QPS XTensions
- QuarkXPress用QPS XTensions
- QuarkCopyDesk用QPS XTensions
- QPS Connect Client
- QPS Server XDK
- QPS Client XDK
- QPS XTensions XDK
- InDesign® CS4およびInCopy® CS4用QPS Connect
- SharePoint® 2010用QPS Adapter
- Automation Services

互換性マトリクス

以下の表は、QPS 8.1から9.0までと互換性があるQuarkソフトウェアのバージョンを示しています。I=インストーラあり、U=アップデートあり。

QPSソリューション	バージョン8.1	バージョン8.1.3.0	バージョン8.1.4.0	バージョン8.1.6.0	バージョン8.5	バージョン9.0
QuarkXPress	8.1	8.12	8.12	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
QuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェア	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
QuarkCopyDesk	8.1	8.13	8.14	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
QuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェア	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
QuarkXPress Server	8.1	8.12	8.14	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェア	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
QPS Connect Client	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
QPS Server	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
QPS Server XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
QPS Client XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
QuarkXPress用QPS XTensions XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
QuarkCopyDesk用QPS XTensions XDK	8.1	8.1.3.0	8.1.4.0	8.1.6.0	8.5 (I/U)	9.0
Alfresco® 3.1用QPS Adapter	8.1, 8.1.0.1	8.1.0.1	8.1.0.1	8.1.0.1	—	—
InDesign CS4およびInCopy CS4用QPS Connect	8.1	8.1	8.1	8.1.6.0	8.5 (I/U)	—
SharePoint 2010用QPS Adapter	—	—	—	—	8.5 (I)	9.0
Automation Services	—	—	8.1	8.1.6.0	8.5 (I)	9.0
Altova® MapForce®	2010 r1	2010 r1	2010 r1	2010 r1	2010 r3	2010 r3
QPS Portal Services	—	—	8.1.4.0	8.1.6.0	—	—

サーバーコンポーネント

- QPS Serverソフトウェア
- QPS File Server

QPSコンポーネント

- QuarkXPress® Server（最小システム構成およびインストール手順については、*QuarkXPress Server ReadMe*ファイルを参照してください）
- Quark® License Administrator（QLA） 4.5（Quarkソフトウェアのライセンス管理用）

その他のオプションのコンポーネント

- Oracle® 10.2.0.4（Windows®またはLinux）を使用したQPSデータベース
- Microsoft® SQL Server® 2005 SP2（Service Pack 2）またはMicrosoft SQL Server 2008 SP1上で動作するQPSデータベース
- QPS Script Manager（タスクの自動化）
- InDesign CS4用QPS Adapter
- SharePoint 2010用QPS Adapter
- Automation Services

クライアントコンポーネント

- QPS Connect Client
- QuarkCopyDesk 9.0（QuarkCopyDesk用QPS XTensions®ソフトウェアを含む）
- QuarkXPress® 9.0（QuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェアを含む）
- QPS Web Hub

必要システム構成

下記のQPS必要システム構成は、基準となる構成ではありますが、ユーザー数、アセット数、およびアセットリビジョン数によってシステムパフォーマンスは変動します。アスタリスクが付いた要件は、これらの変動要素によって影響を受けます。これらの変動要素を考慮するためのガイダンスについては、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。RAM要件は、コンピュータ上の他のサードパーティアプリケーションを考慮していません。また、QuarkXPress Server、QuarkXPress、およびQuarkCopyDeskの要件は下記には含まれていません。これらのアプリケーションのシステム要件については、それぞれのReadMeファイルを参照してください（アプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダに保存されています）。

- ➡ 本書に記載されたオペレーティングシステムの要件には、最新のパッチおよびサービスパックが含まれています。
- ➡ QPSは、VMWare ESXi対応確認済みです。QuarkXPress Serverは、QPSの一部としてのみVMWare ESXi対応確認済みです。
- ➡ QPSは、Citrix Presentation Server 4.5およびCitrix XenApp 5.0との動作が確認されています。

QPS Server : Mac OS

ハードウェア

- 合計4GBのRAM（少なくとも、RAMの合計空き容量の半分をQPS Serverに割り当てることをお勧めします）*
- 1GBのハードディスクの空き容量*
- TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

- ➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Mac OS® 10.4.11、Mac OS 10.5.8、またはMac OS 10.6.6
- Mac OS Server 10.4.11、Mac OS Server 10.5.8、またはMac OS Server 10.6.6
- Java™ Development Kit (JDK™) 1.5または1.6

- Quark License Administrator (QLA) 4.5 (QPS ServerおよびQuarkXPress Serverに必要になります)
- QuarkXPress Server (QuarkXPress ServerはQPS Serverに必要になります。QPS Serverをインストールおよび実行するコンピュータとは別のコンピュータでQuarkXPress Serverをインストールおよび実行し、パフォーマンスを向上させることを推奨します)

サポート対象のプラットフォーム*

- Intelプロセッサ (推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているIntel® Xserveコンピュータ
- G5 PowerPC®プロセッサ (サポート対象ですが、非推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているG5 Xserve®
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているMac Pro

QPS Server : Windows

ハードウェア

- 合計4GBのRAM (QPS Serverにできるだけ多くのRAMを割り当てることをお勧めします。ただし、Windows®で約1.6GBを超える割り当てを行うことはできません) *
- 1GBのハードディスクの空き容量*
- TCP/IPネットワーク (Gigabit Ethernetを推奨)

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Microsoft® Windows Server 2003 (Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット)
- Microsoft Windows Server 2008 (Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット)
- .NET Framework 3.5 SP1
- Java Development Kit (JDK) 1.6
- Quark License Administrator (QLA) 4.5 (QPS ServerおよびQuarkXPress Serverに必要になります)
- QuarkXPress Server (QuarkXPress ServerはQPS Serverに必要になります。QPS Serverをインストールおよび実行するコンピュータとは別のコンピュータでQuarkXPress Serverをインストールおよび実行し、パフォーマンスを向上させることをお勧めします)

サポート対象のプラットフォーム*

- マルチコアXeon®プロセッサベースのサーバー
- Intel® Core™ 2 Duo

- VMware ESXi (仮想化プラットフォーム)

QPS Database*

- 埋め込みモードのHSQL DB 1.8 (インストール時にHSQL DBを選択した場合、QPS Serverインストーラによってこのデータベースが埋め込みモードでインストールされず)
- Microsoft SQL Server 2005 SP2またはMicrosoft SQL Server 2008 SP1、Standard EditionまたはEnterprise Edition
- Red Hat Enterprise Linux 5、Microsoft Windows Server 2003またはMicrosoft Windows Server 2008上で動作するOracle Database 10g Release 2 (10.2.0.4)

➡ Microsoft SQL Serverデータベースを使用する場合、先にMicrosoft SQL Serverをインストールする必要があります。WindowsでOracleデータベースを使用する場合には、まずOracleをインストールする必要があります。次に、インストーラである"QPS Server.exe"をWindowsで実行して**QPS Databaseのインストール**をクリックし、画面の指示に従って、QPSスキーマをMicrosoft SQL ServerデータベースまたはOracleデータベースに作成します。

QPS File Server : Mac OS

ハードウェアオプション

- 合計2GBのRAM*
- 5~150GBのハードディスクの空き容量 (アセット数によって異なります) *
- TCP/IPネットワーク (Gigabit Ethernetを推奨)

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Mac OS X Server 10.4.11、Mac OS X Server 10.5.8、またはMac OS 10.6.6

サポート対象のプラットフォーム*

- Intelプロセッサ (推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているIntel® Xserveコンピュータ
- G5 PowerPC®プロセッサ (サポート対象ですが、非推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアを実行するG5 Xserve® (サポート対象ですが、非推奨)
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているMac Pro

➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することをお勧めします。QPS

ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5～150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB（概算値）を追加してください。

QPS File Server : Windows

ハードウェア

- 合計2GBのRAM*
- 5～150GBのハードディスクの空き容量（アセット数によって異なります）*
- TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Microsoft Windows Server 2003（Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット）
- Microsoft Windows Server 2008（Standard EditionまたはEnterprise Edition、32ビットまたは64ビット）

サポート対象のプラットフォーム*

- Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Edition（推奨）が稼動しているIntel vPro™テクノロジーおよびIntel Core 2 Duo
- Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Editionが稼動しているシングルプロセッサのIntel® Pentium® 4/Pentium D/デュアルプロセッサのXeon

➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することを推奨します。QPS ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5～150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB（概算値）を追加してください。

QPS File Server : Solaris

ハードウェア

- SPARC™ベースまたはx64/x86ベースのシステム
- 合計2GBのRAM
- 5～150GBのハードディスクの空き容量（アセット数によって異なります）*

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことを推奨します。

ソフトウェア

- Sun™ Solaris™ 8以降

QPS Connect Client : Mac OS

ハードウェア

- 合計1GBのRAM*
- プログラムファイル用に500MBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量
- TCP/IPネットワーク

ソフトウェア

- Mac OS X 10.5.8またはMac OS X 10.6.6

サポート対象のプラットフォーム*

- Intel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のiMac
- Mac OS Xクライアントソフトウェアが稼動しているIntel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のMacBookまたはMacBook Pro
- Mac OS Xクライアントソフトウェアを実行するMac Pro
- Intel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のMac mini

QPS Connect Client : Windows

ハードウェア

- 合計1GBのRAM*
- プログラムファイル用に500MBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量

ソフトウェア

- Microsoft Windows XP Professional Edition、Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 ProfessionalまたはUltimate
- .NET Framework 3.5 SP1

サポート対象のプラットフォーム*

- Windows XP Professional Edition、Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼動しているIntel Core 2 Duoプロセッサ
- Windows XP Professional Edition、Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼動しているIntel Xeonプロセッサ

必要システム構成

- Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼動しているIntel vProテクノロジーおよびIntel Core 2 Duo
- Windows XP Professional Edition、Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼動しているIntel Pentium 4プロセッサ

QPS Web Hub

- Mozilla Firefox 3.6.x (Mac OSまたはWindows)、Microsoft Internet Explorer 7.x (Windows)、Microsoft Internet Explorer 8.x (Windows)、Safari 5.x (Mac OS)、Google Chrome 9.x (Mac OSおよびWindows)

➡ * 詳細は、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。

推奨ハードウェア構成

以下の要因を考慮して、組織に必要なハードウェアを特定してください。変動要素には、ユーザー数、アセットの数、アセットの種類（サイズの小さいテキストファイル、サイズの大きい画像ファイルなど）、アセットのリビジョン数があります。アセットを検索するとき、QPS Serverのパフォーマンスはマスターファイルの数（各アセットの現在のバージョン）に左右されます。リビジョンの数はQPS Serverのパフォーマンスに影響しませんが、リビジョン番号の変動要素はQPS File Serverに必要なディスク容量に影響します。また、複数のユーザーからの検索処理数を増やしても、QPS Serverのパフォーマンスに影響することがあります。

アカウント管理者に問い合わせて、以下の推奨構成に基づいて組織のニーズを特定してください。小容量、中容量、大容量の各構成は、QPS Connect Clientウィンドウの**ユーザーアクティビティ**画面に表示されるログオンユーザー数（ユーザーセッション数）に基づいた推定です。

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

小規模のQPSトラフィック

下記の構成で、小規模のQPSワークフロー（約30ユーザーおよび5,000アセット）を適切に処理できます。QPS Database、QPS Server、およびQPS File Serverを1台のコンピュータにインストールできますが、QuarkXPress Serverは別のコンピュータで使用することをお勧めします。

コンピュータ1：QPS Database (HSQL)、QPS Server、QPS File Server

- **RAM**：4GB（1GBはJava Virtual Machineへの割り当て）
- **ハードディスク**：1GBの空き容量（アセットに必要な5~150GB以外）
- **RAID**：不要
- **CPU**：Dual Core Intel（推奨）
- **ネットワーク**：ギガビットNIC（推奨）

コンピュータ2：QuarkXPress Server（2つのサブレンダラ）

推奨ハードウェア構成

- RAM : 4GB
- ハードディスク : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- RAID : 不要
- CPU : Dual Core Intel (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

中規模のQPSトラフィック (オプション1)

下記の構成で、中規模のQPSワークフロー (約50ユーザーおよび20,000アセット) を適切に処理できます。QPS Database、QPS Server、およびQPS File Serverを1台のコンピュータにインストールできますが、QuarkXPress Serverコンピュータ用により多くのRAMを割り当てる必要があります。このオプションでは、サーバーコンピュータを2台で構成することを提案しています。

コンピュータ1 : QPS Database (HSQL) 、 QPS Server、 QPS File Server

- RAM : 8GB (2GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- ハードディスク : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5~150GB以外)
- RAID : 1+0を推奨
- CPU : 4 Core Intel Xeon、 64ビット (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ2 : QuarkXPress Server (4つのサブレンダラ)

- RAM : 8GB
- ハードディスク : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- RAID : 不要
- CPU : 4 Core Intel Xeon、 64ビット (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

中規模のQPSトラフィック (オプション2)

下記の構成で、中規模のQPSワークフロー (約50ユーザーおよび20,000アセット) を適切に処理できます。QPS DatabaseにRedundant Array of Independent Drives (RAID) を使用することで、アセットへのアクセスパフォーマンスが向上します。このオプションでは、サーバーコンピュータを3台で構成することを提案しています。

コンピュータ1 : QPS Database (Microsoft SQL ServerまたはOracle)

- RAM : 8GB
- ハードディスク : 20GBの空き容量
- RAID : RAID 1+0
- CPU : 4 Core Intel Xeon、 64ビット (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ2 : QPS Server、QPS File Server

- **RAM** : 8GB (1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- **ハードディスク** : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5~150GB以外)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 4 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ3 : QuarkXPress Server (4つのサブレンダラ)

- **RAM** : 8GB
- **ハードディスク** : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 4 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

大規模のQPSトラフィック

下記の構成で、大規模のQPSワークフロー (150ユーザーおよび60,000アセット以上) を適切に処理できます。この規模を超える要件の場合は、enterprisesupport@quark.com にお問い合わせください。

コンピュータ1 : QPS Database (Microsoft SQL ServerまたはOracle)

- **RAM** : 8GB
- **ハードディスク** : 40GBの空き容量
- **RAID** : RAID 1+0
- **CPU** : 8 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ2 : QPS Server、QPS File Server

- **RAM** : 8GB (1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て)
- **ハードディスク** : 1GBの空き容量 (アセットに必要な5~150GB以外)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 8 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- **ネットワーク** : ギガビットNIC (推奨)

コンピュータ3 : QuarkXPress Server (8つのサブレンダラ)

- **RAM** : 8GB
- **ハードディスク** : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- **RAID** : 不要
- **CPU** : 8 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)

推奨ハードウェア構成

- ネットワーク：ギガビットNIC（推奨）

QPSソフトウェアのインストール

QPSには、サーバーコンポーネントおよびクライアントコンポーネント用に複数のインストーラがあります。これらのインストーラは、下記の順序で実行する必要があります。下記の順序に従わないと、QPSソフトウェアのインストールをすべて完了した後でファイルを手動でコピーする必要が発生します。

- 1 QuarkXPress Serverをインストールします。
- 2 QPS Serverインストーラに含まれているQuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールします。
- 3 QPS Databaseをインストールします。
- ➡ QPSで使用するためにMicrosoft SQL Serverデータベースを設定する場合、Microsoft SQL ServerソフトウェアをインストールするときにWindows認証を使用しないでください。
- 4 QPS Serverをインストールします。
- 5 QuarkCopyDeskをインストールします。
- 6 QuarkXPressをインストールします。
- 7 QPS Connect Clientをインストールします（このインストーラによって、QuarkCopyDeskおよびQuarkXPress用のQPS XTensionsソフトウェアもインストールされます）。

QPS Serverのインストール

Mac OS

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- ➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要があります。
- 2 **QPS Server Installer**をダブルクリックします。
QPS Serverウィンドウが表示されます。
- 3 **QPS Serverのインストール**をクリックします。
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。

- 4 **続ける**をクリックし、ライセンス契約を読んでから、**次へ**、そして**同意する**をクリックします。
ソフトウェアの認証画面が表示されます。
- 5 バリデーションコードを入力し、**次へ**をクリックします。
ライセンスサーバーの情報画面にシリアル番号とインストール日が表示されます。
- 6 Quark License Administrator (QLA) コンピュータのIPアドレスまたはホスト名を**ホスト名またはIPアドレス**フィールドに入力します。
- 7 **ポート**フィールドにポート番号を入力します。
- 8 QLAバックアップサーバーを使用する場合は、IPアドレスまたはホスト名およびポート番号を**バックアップのホスト名またはIPアドレス**および**ポート**フィールドに入力します。
- 9 **次へ**をクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 10 手順5で入力したバリデーションコードは、**データベース選択**コントロールにグレーで表示される選択したデータベースに対応しています。その他のオプションは、選択によりさまざまです。
 - HSQLデータベースとスキーマの埋め込みを選択すると、**デフォルト (埋め込みモードではHSQL DB)** がグレーで表示されます。
 - すでにインストールしたMicrosoft SQL Serverデータベースの使用を選択すると、**SQL Server**がグレーで表示されます。Microsoft SQL Serverデータベースサーバーのホスト名、ポート、インスタンス名、データベースユーザー名、およびデータベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsでのQPS Databaseのインストール – MS SQL Server](#)」を参照してください。
 - Oracleデータベースの使用を選択すると、**Oracle**がグレーで表示されます。Oracleサーバーのホスト名、インスタンス名、データベースユーザー名、およびデータベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」を参照してください。
- 11 QPS Serverをサービスとして実行するには、**Quark Publishing システム(サーバー)をサービスとしてインストール**をオンにします。**次へ**をクリックしてインストールを続行します。
QuarkXPress Server情報画面が表示されます。
- 12 QuarkXPress ServerのIPアドレスとポート番号を入力し、**次へ**をクリックします。
インストール先の選択画面が表示されます。
- 13 QPS Serverの場所を選択し、**続ける**をクリックしてから**インストール**をクリックします。
インストール後にQPS Server Consoleが起動します。
- 14 **QPS Serverを起動**をクリックしてサーバーを起動できます。

Windows

QPS Serverアプリケーションのインストールは下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- ➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要があります。バリデーションコードは選択するデータベースに関連付けられています（埋め込みHSQLデータベース、Microsoft SQL Server、Oracle）。
- 2 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックします。次の3つのオプションを持つ**Quark Publishing System**のインストーラ画面が表示されます。**QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール、QPS Databaseのインストール、そしてQPS Serverのインストール**。
- 3 **QPS Serverのインストール**をクリックして、**次へ**をクリックします。
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 **ライセンス契約書の条項に同意します**をクリックし、**次へ**をクリックします。
ソフトウェアの認証画面が表示されます。
- 5 バリデーションコードを入力し、**次へ**をクリックします。
ライセンスサーバーの情報画面にシリアル番号とインストール日が表示されます。
- 6 Quark License Administrator (QLA) コンピュータのIPアドレスまたはホスト名を**ホスト名またはIPアドレス**フィールドに入力します。
- 7 **ポート**フィールドにポート番号を入力します。
- 8 QLAバックアップサーバーを使用する場合は、ホスト名またはIPアドレスおよびポート番号を**バックアップのホスト名またはIPアドレス**および**ポート**フィールドに入力します。
- 9 **次へ**をクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 10 手順5で入力したバリデーションコードは、**データベース選択**コントロールにグレーで表示される選択したデータベースに対応しています。その他のオプションは、選択によりさまざまです。
 - バリデーションコードがHSQLデータベースとスキーマを指定していると、**デフォルト（埋め込みモードのHSQL DB）**がグレーで表示されます。
 - すでにインストールしたMicrosoft SQL Serverデータベースの使用を選択すると、**SQL Server**がグレーで表示されます。Microsoft SQL Serverデータベースサーバーのホスト名、インスタンス名、ポート番号、データベースユーザー名、データベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsでのQPS Databaseのインストール – MS SQL Server](#)」を参照してください。
- ➡ このデータベースのデフォルトのポートは1433ですが、番号が異なる可能性もあります。番号を調べるには、SQL Server Configuration Managerでデータベースのインスタンスを確認します。
 - Oracleデータベースの使用を選択すると、**Oracle**がグレーで表示されます。Oracleサーバーのホスト名、インスタンス名、ポート番号、データベースユーザー名、データベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsでのQPS Databaseのインストール – Oracle](#)」を参照してください。

QPSソフトウェアのインストール

11 次へをクリックします。

インストール先フォルダ画面が表示されます。

12 QPS Server Windowsサービスの設定には、**システム選択**ドロップダウンメニューのオプションを選択してください。

- ローカルシステムアカウント制御を指定するには、**ローカル**を選択します。
- ドメインユーザー制御を指定するには、**ドメイン**を選択して、ドメイン名、ユーザー名、パスワードを入力します。

➡ **ドメイン**を選択した場合は、コンピュータの管理権限を持つアカウント名を入力します。

13 次へをクリックします。

QuarkXPress Server情報画面が表示されます。

14 QuarkXPress ServerのIPアドレスとポート番号を入力し、次へをクリックします。

アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。

15 インストールをクリックします。

インストール後にQPS Server Consoleが起動します。

16 QPS Serverを起動をクリックしてサーバーを起動できます。

QPS Script Manager

QPS Script Managerでは、スクリプトを使用してQPS Serverのタスクを自動化できます。QPS Script Managerは、"QPS Server"アプリケーションフォルダにある"ScriptManager"フォルダにインストールされます。QPS Script Managerを別のコンピュータにインストールする場合は、QPSの"ScriptManager"フォルダを対象のコンピュータにコピーします。

QPS 8.1現在で、Script Managerを使用するには、使用許諾されている必要があります。使用許諾されている場合、Script Managerはデフォルトで有効になります。

QuarkXPress Serverのインストール

QuarkXPress Serverのインストールに関する詳細は、QuarkXPress Serverアプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダ内の**QuarkXPress Server ReadMe**ファイルを参照してください。**ポートとフォルダの設定**画面が表示されたら**HTTPインターフェイスを使用**をオンにして、ポート番号を入力します。QPS Serverを入力するときに必要になるため、ポート番号を記録します。また、**ファイルシステムのドキュメントプールを使用**をオンにして**参照**をクリックし、場所を指定します。

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストーラファイルをQuarkXPress Serverコンピュータで実行してください。

Mac OS

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にし、インストールを行ってください。
- 2 **QPS Server Installer**をダブルクリックします。
QPS Serverウィンドウが表示されます。
- 3 **QuarkXPress Server用QPS XTensions Softwareをインストールします**をクリックします。
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 4 **続ける**をクリックし、ライセンス契約を読んでから、**続ける**、**同意する**、**インストール**の順にクリックします。
XTensionsソフトウェアのファイルがインストーラによってコピーされます。
- 5 **終了**をクリックして、インストールを終了します。

Windows

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックします。**Quark Publishing System**のインストーラが開き、**QPS XTensions Software for QuarkXPress Server**をインストールします、**QPS Database**のインストール、**QPS Server**のインストールの3つのオプションが表示されます。
- 3 **QPS XTensions Software for QuarkXPress Server**をインストールしますをクリックし、画面の指示に従います。

QPS Databaseのインストール

QPS Databaseのインストール方法には、下記の3つのオプションがあります。HSQL DB、MS SQL Server、およびOracleです。以下の手順に従ってください。

QPS Databaseのインストール — HSQL DB

QPS Serverインストーラを実行すると、QPSはHSQL QPS Databaseを埋め込むため、このデータベースをインストールするのが最も簡単なオプションです。QPSスキーマをHSQLデータベースにインストールするために独立したデータベースインストーラを実行する必要はありません。詳細は、「[QPS Serverのインストール](#)」を参照してください。

WindowsでのQPS Databaseのインストール — MS SQL Server

Microsoft SQL ServerのQPS Databaseをインストールする前に、MS SQL ServerをWindowsにインストールして設定する必要があります。QPS Databaseは、QPS

QPSソフトウェアのインストール

Databaseインストーラ ("Installer > Database"フォルダ内の"Setup.exe") またはQPS Server Installer ("QPS Server.exe") を使ってインストールできます。MS SQL ServerのQPS Databaseをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "Installer > Database"フォルダの"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。
Quark Publishing System Database — 設定ダイアログボックスが表示されます。
➡ "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックしてから**QPS Databaseのインストール**をクリックしても、**Quark Publishing System Database — 設定**ダイアログボックスにアクセスできます。
- 3 **次へ**をクリックします。
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 **ライセンス契約書の条項に同意します**をクリックしてから**次へ**をクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 5 **データベースタイプ選択**ドロップダウンメニューから**SQL Server**を選択し、**次へ**をクリックします。
MS SQL Server情報を入力する画面が表示されます。
- 6 **ホスト/インスタンス名**フィールドに[ホスト名]¥[インスタンス名]を入力します。インスタンス名は、デフォルトのインスタンス (MSSQLSERVER) を使用しない場合のみ必要です。
- 7 作成するQPS Databaseの名前を**データベースユーザー名**フィールドに入力します。インストーラによってこの名前のデータベースが作成されます。次に、同じ名前のログインが作成され、そのログインにdb_ownerロールが付与されます。
- 8 **データベースパスワード**フィールドに、ログインのパスワードを入力します。
- 9 **データベースインストール先フォルダ**領域の**参照**をクリックして、データベースデータファイルを保存するパスを指定します。
- 10 **次へ**をクリックします。
アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。
- 11 **インストール**をクリックします。
- 12 インストールが完了したら、**完了**をクリックします。

WindowsでのQPS Databaseのインストール — Oracle

OracleのQPS Databaseをインストールする前に、Oracleをインストールして設定する必要があります。Windows上のOracleのQPS Databaseは、QPS Databaseインストーラ ("Installer > Database"フォルダ内の"Setup.exe") またはQPS Server Installer ("QPS Server.exe") を使ってインストールできます。

- ➡ Linux上のOracleのQPS Databaseのインストールについては、「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」を参照してください。

OracleのQPS Databaseをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 "Installer > Database"フォルダの"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。
Quark Publishing System Database — 設定ダイアログボックスが表示されます。
- ➡ "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックしてから**QPS Databaseのインストール**をクリックしても、**Quark Publishing System Database — 設定**ダイアログボックスにアクセスできます。
- 3 次へをクリックします。
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約書の条項に同意します。をクリックしてから次へをクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 5 データベースタイプ選択ドロップダウンメニューから**Oracle**を選択し、次へをクリックします。
Oracleデータベース情報を入力する画面が表示されます。
- 6 インスタンス名フィールドにOracleサービス名を入力します。
- 7 SYSパスワードフィールドにデータベースSYSユーザーのパスワードを入力します。
- 8 作成するQPSスキーマの名前をスキーマ名フィールドに入力します。
- 9 スキーマパスワードフィールドにQPSスキーマのパスワードを入力します。
- 10 データファイル、索引ファイル、およびLOBファイルを保存するパスを、**保存先フォルダ**領域から選択します。
- 11 次へをクリックします。
アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。
- 12 インストールをクリックします。
- 13 インストールが完了したら、**完了**をクリックします。

Linux上のOracleのQPSスキーマの設定

QPSスキーマを設定する前に、Oracleがコンピュータにインストール済みで、QPSスキーマを設定するデータベースがあることを確認してください。QPSパッケージに含まれている、QPSスキーマをOracle用に作成するスクリプトでは、データベースは作成されません。

- 1 "Oracle"フォルダ内の"Create"フォルダを開きます。
- 2 QPSスキーマを作成するには、"CreateAndSetup.sh" (Mac OS/Linux) または"CreateAndSetup.bat" (Windows) を、以下の引数を指定して実行します。
 - **SysPwd** : データベースのSYSユーザーのパスワード
 - **QPPUser** : 作成するQPSスキーマ名
 - **QPPPwd** : QPSスキーマのパスワード
 - **ServiceName** : Oracleサービス名

QPSソフトウェアのインストール

- **DataDest** : データファイルが作成されるパス
- **IdxDest** : 索引ファイルが作成されるパス
- **LobDest** : lobファイルが作成されるパス

3 スクリプトは、下記の操作を行います。

- テーブルスペースの作成
- スキーマ/ユーザーの作成
- テーブルの作成
- 索引の作成
- プロシージャの作成
- 設定データの初期化
- ユーザーデータの初期化
- 外部キーの作成
- Quartzスキーマの作成

4 上記のそれぞれのタスク用に提供される個々のスクリプトを使うことができますが、"CreateAndSetup.sh"または"CreateAndSetup.bat"を実行してプロンプトに従って情報を入力することをお勧めします。

QPS Connect Clientのインストール

Mac OS

QPS Connect Clientをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "QPS Connect Client - Setup.app"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要はありません。

Windows

QPS Connect Clientをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 "Setup.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってください。

➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要はありません。

QPS XTensionsソフトウェアの手動でのインストール

QPS Connect Clientインストーラを実行する前に、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskをクライアントコンピュータにインストールしておく必要があります。QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのReadMeファイルの手順に従います。アプリケーションを起動してインストールが成功したことを確認し、アプリケーションを終了します。

QPS Connect Clientインストーラは、コンピュータ上の互換性のあるQuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを検索し、QPS XTensionsソフトウェアを各プログラムのアプリケーションフォルダにインストールします。

➡ また、QPS Connect Clientインストーラは、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのDejavu XT XTensionsソフトウェアを無効にします。Dejavu XT XTensionsソフトウェアによって、**開く**サブメニュー（**ファイル**メニュー）に最近使用したファイルが一覧表示されますが、これによりQPS環境のパフォーマンスが低下する可能性があります。

QPS Connect ClientインストーラがQuarkXPressおよびQuarkCopyDeskの場所を特定できない場合、XTensionsソフトウェアを"QPS Client"フォルダのルートレベルにコピーします。この場合、下記の手順を使用してQPS XTensionsソフトウェアをインストールします。

Mac OS

QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェアを手動インストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを終了します。
- 2 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 3 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 4 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 5 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 6 Controlキーを押しながらQuarkCopyDeskアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 7 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダ内の"Frameworks"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションパッケージの"Frameworks"フォルダにそのコンテンツをコピーします。
- 8 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションパッケージに"Certificates"フォルダをコピーします。

- 9 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"QPPPlugins"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPPPlugins"フォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダに追加します。
 - 10 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"QPSLog"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPSLog"フォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダに追加します。
 - 11 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
 - 12 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
 - 13 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
 - 14 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
 - 15 Controlキーを押しながらQuarkXPressアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
 - 16 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"ForQuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダ内の"Frameworks"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションパッケージの"Frameworks"フォルダにそのコンテンツをコピーします。
 - 17 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションパッケージに"Certificates"フォルダをコピーします。
 - 18 QuarkXPressアプリケーションパッケージで
Contents/Frameworks/QPPServiceProxy.framework/Resources/info.plistという
ファイルを検索して、テキストエディタで開き、下記のエントリを追加します。

```
<key>SSLCertificatesPath</key> <string>Certificates</string>  
<key>AXISLogFilePath</key> <string>~/Library/Logs/Axis2ClientLog.log</string>  
<key>AXISLogLevel</key> <string>0</string>  
<key>SSLCertificatePath</key> <string>Certificates</string>
```
- ➡ これらのエントリは、For QuarkXPress/Appフォルダの"info.plist"ファイルからコピーできます。
- 19 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"QPPPlugins"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPPPlugins"フォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダに追加します。
 - 20 "QPS Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"QPSLog"フォルダのファイル

を置き換えます。新規インストールの場合は、"QPSLog"フォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダに追加します。

Windows

QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェアを手動インストールするには、以下の手順に従います。

- 1 QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを終了します。
- 2 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 3 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 4 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 5 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Symbols"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Symbols"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 6 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"フォルダにある残りのファイルとフォルダをすべてQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダにコピーします。
- 7 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 8 QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダに"QuarkCopyDesk.exe.config"という名前のファイルがあるかどうか確認します。
 - ファイルが存在しない場合は、"For QuarkCopyDesk"フォルダから"QuarkCopyDesk.exe.config"ファイルをアプリケーションフォルダにコピーします。
 - ファイルが存在する場合は、（QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの）"QuarkCopyDesk.exe.config"ファイルと（"For QuarkCopyDesk"フォルダの）"QuarkCopyDesk.exe.config"ファイルを、テキストエディタで開きます。
 - アプリケーションフォルダ側のファイルに<system.web>、<system.net>、および<appSettings>の各要素が含まれている場合、"For QuarkCopyDesk"側のファイルから、同じ名前の要素の内容を各要素に追加します。
 - アプリケーションフォルダ側のファイルにこれらの要素がない場合は、"For QuarkCopyDesk"フォルダ側のファイルから各要素をコピーして、そのファイルの<Configuration>要素にペーストします。
- 9 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。

- 10 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 11 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 12 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Symbols"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Symbols"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 13 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"フォルダにある残りのファイルとフォルダをすべてQuarkXPressアプリケーションフォルダにコピーします。
- 14 DejaVu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 15 QuarkXPressアプリケーションフォルダに"QuarkXPress.exe.config"という名前のファイルがあるかどうか確認します。
 - ファイルが存在しない場合は、"For QuarkXPress"フォルダから"QuarkXPress.exe.config"ファイルをアプリケーションフォルダにコピーします。
 - ファイルが存在する場合は、（QuarkXPressアプリケーションフォルダの）"QuarkXPress.exe.config"ファイルと（"For QuarkXPress"フォルダの）"QuarkXPress.exe.config"ファイルを、テキストエディタで開きます。
 - アプリケーションフォルダ側のファイルに<system.web>、<system.net>、および<appSettings>の各要素が含まれている場合、"For QuarkXPress"側のファイルから、同じ名前の要素の内容を各要素に追加します。
 - アプリケーションフォルダ側のファイルにこれらの要素がない場合は、"For QuarkXPress"フォルダ側のファイルから各要素をコピーして、そのファイルの<Configuration>要素にペーストします。

インストール後に変更を行うには

- ➡ QPS Server内で実行されているQuarkXPress Server Managerにアクセスするには、QuarkXPress Server Managerクライアントを起動して、QPS Serverにログオンします。

QuarkXPress Serverロケールの識別

日付や数字の書式などのロケール設定の一貫性を保つために、QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定がQPS Serverで認識される必要があります。QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定によって、日付、時間、および数字の書式が決まります。

QPS ServerのQuarkXPress Serverコンピュータのロケールを設定するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverアプリケーションフォルダ内の"conf"フォルダを開きます。
- 2 "ServerApp.properties"をテキスト編集アプリケーションで開きます。

- 3 “qxps.locale=” エントリーまでスクロールします。
- 4 QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定を入力します。英語の場合はen、フランス語の場合はfr、ドイツ語の場合はdeを入力します。
- 5 "ServerApp.properties"を保存して閉じます。

QuarkXPress Serverの更新

QuarkXPress Serverを別のコンピュータに移動する必要がある場合、QPS Serverを再インストールする必要はありません。代わりにQPS Serverアプリケーションフォルダの"conf"フォルダにある"ManagerConfig.xml"ファイルを編集します。

- 1 QPS Serverアプリケーションフォルダ内の"conf"フォルダを開きます。
- 2 "ManagerConfig.xml"ファイルを開きます。
- 3 <connectioninfo>要素 (manager/hosts/host/connectioninfo) を見つけます。
- 4 <name>要素の値を新しいQuarkXPress ServerのIPアドレスに変更します。
- 5 <port>要素の値を新しいQuarkXPress Server用に指定したポート番号に変更します。
- 6 "ManagerConfig.xml"を保存してQPS Serverを起動します。
- 7 変更を確認するには、"QpsServer.log"ファイルで"Successfully registered with QXPS"という行を探します。

QPS Connect Clientのインストール内容の更新: Windows

インストール後にQPS Connect Clientソフトウェアに変更を行うには、以下の手順に従います。

- 1 "setup.exe"ファイルをダブルクリックします。QPS — 設定ダイアログボックスが表示されます。
- 2 次へをクリックします。プログラムのメンテナンス画面が表示されます。
 - インストールするQPS Connect Clientファイルを選択するには、**設定**をクリックします。新しいファイルをインストールするか、すでにインストール済みのファイルを削除できます。
 - QPS Connect Clientファイルに関連した軽微な問題を修正するには、**修復**をクリックします。このオプションは、QPS Connect Clientファイル、ショートカット、またはレジストリエントリが欠如または破損した場合に使用してください。
 - QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、**削除**をクリックします。
- 3 次へをクリックします。

前のダイアログボックスで**設定**をクリックした場合は、**カスタムセットアップ**画面が表示されます。必要に応じて変更し、**次へ**をクリックします。**プログラムを変更する準備ができました**画面が表示されます。**インストール**をクリックします。

前のダイアログボックスで**修復**をクリックした場合は、**プログラムを修復する準備ができました**画面が表示されます。**インストール**をクリックします。

- 4 プロセスが完了したことを示すメッセージが表示されたら、**完了**をクリックします。

QPS ServerへのRAMの割り当て

JVMに割り当てられるメモリの量を変更することができます。Mac OSまたはWindowsでは、空きメモリ量の50パーセント以下にすることをお勧めします。また、Windowsでは32ビットコンピュータで割り当て量を1536MB以下にしてください。

Mac OS

Mac OSでQPS Serverに割り当てられるメモリ量を調整するには、下記の手順に従います。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 "QPS Server"アプリケーションフォルダで"ServerStartup.command"を探し、テキスト編集アプリケーションで開きます。
- 3 「java -server -Xmx512m -classpath」を探します。「512M」は、512MBのRAMがQPS Serverに割り当てられることを示しています。
- 4 使用可能なメモリの50パーセントまでの範囲で値を調整します。
- 5 "ServerStartup.command"を保存して閉じ、QPS Serverを再起動します。

Windows

Windowsでは、QPS Serverの起動方法に応じて、メモリ割り当てを異なる場所に指定できます。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server起動時にQPS Server ConsoleまたはQPS Server Windowsサービスを使用する場合は、"wrapper.conf"ファイルを開きます。
- 3 "wrapper.java.maxmemory"プロパティを探します。
- 4 値を調整します。設定できる値は最大1536で、使用可能なメモリの50パーセントを超えることはできません。
- ➡ 32ビットコンピュータでは1536を超えることはできません。QPSは64ビットコンピュータをサポートしていますが、この場合メモリは最大3072です。
- 5 変更を保存し、QPS Serverを再起動します。
- 6 "Serverstartup.bat"を使用する場合は、以下の手順に従ってください。
- 7 QPS Serverを停止します。
- 8 "ServerStartup.bat"をテキスト編集アプリケーションで開きます。
- 9 "java -server -Xmx512m -classpath"を探します。"512M"は、512MBのRAMがQPS Serverに割り当てられることを示しています。
- 10 値を調整します。設定できる値は最大1536で、使用可能なメモリの50パーセントを超えることはできません。

➡ 32ビットコンピュータでは1536を超えることはできません。QPSは64ビットコンピュータをサポートしていますが、この場合メモリは最大3072です。

11 変更を保存し、QPS Serverを再起動します。

QPS 9.0へのアップグレード

QPS 9.0にアップグレードする場合は、QPS Serverを更新する前にすべてのアセットをチェックインしてください。QPS File Serverを保持できます。各QuarkXPressプロジェクトおよびQuarkCopyDeskアティクルは、アセットをチェックアウトしてチェックインし直したときにQPS 9.0フォーマットに変換されます。

QuarkソフトウェアをQuark License Administrator (QLA) で管理している場合は、アップグレードの前にライセンスをチェックインしてください。

新しいバージョンのQuarkCopyDeskまたはQuarkXPressをインストールするには、それぞれの**ReadMe**ファイルを参照してください。

- ➡ QPS Connect client用のアップグレードプログラムはありません。アップグレードするには、「[QPS Connect Clientのインストール](#)」の説明に従って新しいバージョンをインストールするだけです。

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのアップグレード

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをアップグレードするには、下記の手順に従ってください。

- 1 Windowsで、Windowsのアンインストーラを使用して既存のQuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをアンインストールします。
- 2 Windowsでは、Windowsのアンインストーラを使用して、QuarkXPress Serverの既存のインスタンスをアンインストールします。Mac OSでは、既存のQuarkXPress Serverアプリケーションフォルダをごみ箱にドラッグします。
- 3 QuarkXPress Server 9.0をインストールします。詳細は、『**QuarkXPress Server ReadMe**』を参照してください。
- 4 「QPS Serverのアップグレード (Mac OS)」または「QPS Serverのアップグレード (Windows)」の説明に従ってQPS Serverをアップグレードします。
- 5 QuarkXPress Server用QPS Server XTensionsソフトウェアをインストールするには、「QuarkXPress Server XTensions」フォルダのインストーラを実行します。

QPS Serverのアップグレード (Mac OS)

- ➡ QPSのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデートにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。

QPS Serverをアップグレードするには、下記の手順を実行します。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server ConsoleとQPS Server StatusMenuを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 **QPS Serverアップグレードプログラム**をダブルクリックします。認証画面が表示されません。名前とパスワードを入力します。
- 5 バリデーションコードを入力します。
- 6 **次へ**をクリックします。
- 7 このコンピュータに複数のQPS Serverがインストールされている場合は、**選択**をクリックして、アップグレードの対象を選択します。該当しない場合は、**続ける**をクリックします。
- 8 プロセスが完了したら**終了**をクリックします。
- 9 QPS Serverを起動します。

QPS Serverの更新 (Windows)

- ➡ QPSのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデータにより、QPS Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。
- ➡ QPS 8.1のインストール時にMicrosoft SQL ServerまたはOracleを選択した場合は、データベースを更新するためにQPS Database更新プログラムを実行する必要があります。詳細は、「[Windows : MS SQL ServerまたはOracle](#)」を参照してください。

QPS Serverを更新するには、下記の手順を実行します。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、QPS Serverを再起動してから再度QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server Consoleを終了します。
- 3 現在のQPS Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。
- 4 "QPS Server.exe"ファイルをダブルクリックして**QPS Serverのインストール**を選択するか、QPS Serverフォルダにある"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。インストーラは自動的にQPSのインストールを検出して更新モードに切り替わります。
- 5 バリデーションコードを入力します。
- 6 **次へ**をクリックします。

QPS 9.0へのアップグレード

- 7 画面の指示に従います。
- 8 プロセスが完了したら**完了**をクリックします。
- 9 QPS Serverを起動します。

QPS Databaseのアップグレード

以下のトピックでは、QPS Databaseをアップグレードする方法について説明します。

- ➡ QPS Databaseは、Windows上で動作するMS SQL Server、Windows上またはLinux上で動作するOracleを使用する場合のみアップグレードする必要があります。HSQL QPS Databaseは、QPS Serverのアップグレードプログラムを実行するとアップグレードされます。

QPS Databaseのアップグレード（Windows）：MS SQL ServerまたはOracle

Windows上で動作するMS SQL ServerまたはOracleをQPSデータベースとして使用している場合は、下記の手動での手順を実行します。

- 1 QPS Serverをシャットダウンします。
- 2 データベースをインストールしたコンピュータ上で、**Upgrader/QPS Server/Database**ディレクトリに移動します。
- 3 "Update.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。
- 4 ドロップダウンメニューから**Oracle/SQL**を選択します。
- 5 画面の指示に従います。

QPS Databaseのアップグレード（Linux）：Oracle

Linux上で動作するOracleをQPSデータベースとして使用している場合にQPSデータベースをアップグレードするには、下記の手動での手順を実行します。

- 1 QPS Serverをシャットダウンします。
- 2 **Upgrader/QPS Server/Database/Oracle**ディレクトリに移動します。
- 3 "Update"フォルダを、Oracleをインストールしたコンピュータのローカルのハードドライブにコピーします。このフォルダにはデータベース更新スクリプトが含まれます。
- 4 コマンドプロンプトを表示して、ローカルのハードドライブの"Update"フォルダに移動します。
- 5 "Upgrade.sh"スクリプトを実行するには、**sh Upgrade.sh**と入力して以下の引数を指定します。

- **SysPwd** : データベースのSYSユーザーのパスワード
- **QPPUser** : QPSスキーマの名前
- **QPPPwd** : QPSスキーマのパスワード
- **ServiceName** : Oracleサービス名

QPS XDKのドキュメント

QPS ServerおよびQPS Connect Client用のXDKのドキュメントは、QPSのアプリケーションフォルダの"Documentation"フォルダにあります。QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェアのXDKのドキュメントは、qdr.quark.comから入手できます。

QPS Serverの起動

Mac OSとWindowsでは、QPS Serverの起動方法が異なります。Mac OSでは、QPS Serverのインストールが完了すると、**QPS Server Console**が表示され、**QPS Serverを起動**をクリックできます。また、QPS Serverをサービスとしてインストールするか、**マシンが再起動したときに自動的に起動**をオンにすると、QPS Serverコンピュータを再起動したときにQPS Serverが自動的に起動します。

Mac OS

Mac OSでQPS Serverを起動するには、以下の手順に従います。

- 1 アップルメニューで**システム環境設定**を選択します。
システム環境設定ウィンドウが表示されます。
- 2 システム環境設定ウィンドウの下部にある**その他**の下の**QPS Server**をクリックします。
QPS Server Consoleが表示されます。
- 3 QPS Serverを**起動**をクリックします。
サーバーの状況フィールドに**起動中**と表示された後、**稼動中**と表示されます。

Windows

- ➡ ユーザーアカウント制御を有効にしたWindows Server 2008 R2にQPSをインストールした場合、管理者として下記の操作を行う必要があります。

WindowsでQPS Serverを起動するには、下記の手順に従ってください。

- 1 スタート > **すべてのプログラム** > **QPS Server** > **QPS Server Console**を選択します。
QPS Server Consoleが表示されます。
- 2 QPS Serverを**起動**をクリックします。
サーバーの状況フィールドに**起動中**と表示された後、**稼動中**と表示されます。

QXP Serverの再起動の自動化

QuarkXPress Serverをインストールしたら、以下のパラメータを指定して、サブレンダラーの監視機能を有効にしてQuarkXPress Serverが起動されるようにします。QuarkXPress Serverのマスタープロセスは、サブレンダラーのプロセスを監視し、必要に応じてサブレンダラーを再起動します。監視の間隔を指定するには"-queryinterval"パ

ラメータを使用し、再試行の回数を指定するには"-noofreties"パラメータを使用します。

- 1 テキスト編集アプリケーションを使用して、[QuarkXPress Serverアプリケーションフォルダ]/conf/ServerApp.propertiesファイルを開きます。
- 2 `qxpservercore.monitorrenderers.value=true`と設定します。
- 3 `qxpservercore.monitorrenderers.queryinterval.value=60`と設定します。
- 4 `qxpservercore.monitorrenderers.noofreties.value=3`と設定します。

アンインストール

QPS Serverのアンインストール

Mac OS

QPS Serverをアンインストールするには、まずQPS Serverをシャットダウンし、QPS Server ConsoleおよびQPS Serverの状況メニューを終了します。次に、QPS Serverのアプリケーションフォルダを開いて**QPS Server Uninstaller**をダブルクリックし、画面の指示に従います。

Windows

QPS Serverをアンインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 QPS Serverを停止し、QPS Server Consoleを終了します。
 - 2 **スタート > すべてのプログラム > QPS Server > QPS Serverのアンインストール**を選択します。
 - 3 **はい**をクリックします。アンインストール処理に必要な情報がアンインストーラによって収集されます。
 - 4 **はい**をクリックして続行するか、**いいえ**をクリックしてキャンセルします。
- ➡ アンインストーラは自動的に終了し、メッセージは表示されません。
- ➡ QPS Serverソフトウェアの削除は、**コントロールパネル > プログラムの追加と削除**から行うこともできます。

QPS Connect ClientおよびQPS XTensionsソフトウェアのアンインストール

Mac OS

QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ハードドライブの"Applications"フォルダ（またはQPS Connect Clientアプリケーションをインストールしたフォルダ）を開き、"QPS Client"フォルダをごみ箱にドラッグします。
- 2 下記のフォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダから削除します。

- QPPPlugins
 - QPSLog
- 3 Controlキーを押しながらQuarkXPressアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 4 下記のファイルおよびフォルダを削除します。
- QPPCore.framework
 - QPPLogging.framework
 - QPPPluginInterface.framework
 - QPPServiceProxy.framework
 - QPPUIExtensions.framework
 - QPSXTControls.framework
 - UIAccessLayer.framework
- 5 下記のXTensionsソフトウェアモジュールをQuarkXPresアプリケーションフォルダにある"XTensions"フォルダから削除します。
- Notes.xnt
 - NotesUI.xnt
 - QCDImportFilter.xnt
 - QPS XT.xnt
 - QPSPlaceholderXT.xnt
 - RedlineXT.xnt
- 6 下記のフォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダから削除します。
- QPPPlugins
 - QPSLog
- 7 Controlキーを押しながらQuarkCopyDeskアプリケーションアイコンをクリックし、**パッケージのコンテンツを表示**を選択し、"Contents"フォルダの"Frameworks"フォルダを開きます。
- 8 下記のファイルおよびフォルダを削除します。
- QPPCore.framework
 - QPPLogging.framework
 - QPPPluginInterface.framework
 - QPPServiceProxy.framework
 - QPPUIExtensions.framework
 - QPSXTControls.framework

アンインストール

- UIAccessLayer.framework
- 9 下記のXTensionsソフトウェアモジュールをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダにある"XTensions"フォルダから削除します。
- QPS XT.xnt
 - QPSPlaceholdersXT.xnt

Windows

QPS Connect Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Connect Clientを終了します。
 - 2 **スタート > すべてのプログラム > QPSクライアント > QPSクライアントのアンインストール**を選択します。
 - 3 **はい**をクリックします。アンインストーラがアンインストールに必要な情報を収集し、QPS Connect Clientアプリケーションフォルダの内容が削除されることを示す警告が表示されます。
 - 4 **はい**をクリックして続行するか、**いいえ**をクリックしてキャンセルします。
- ➡ QPS Connect Clientインストーラを使用してQuarkCopyDeskおよびQuarkXPress用QPS XTensionsソフトウェアをインストールしていた場合は、QPS Connect Clientアンインストーラは、これらのXTensionsソフトウェアモジュールも削除します。

このバージョンにおける変更点

QPSの本バージョンにおける変更点は、以下のとおりです。

QPS Serverの変更点

QPS Serverの変更点は、以下のとおりです。

- Script Managerによって、HTTPでQPS Serverと通信できるようになりました。
- Script Managerでスクリプトの名前を変更できるようになりました。
- データベース設定が"databases.properties"ファイルに格納されるようになりました。

ワークスペースブラウザウィンドウの変更点

ワークスペースブラウザウィンドウの変更点は、以下のとおりです。

- ユーザーインターフェイスの応答が向上し、特にワイドエリアネットワーク（WAN）で、データの読み込みが速くなりました。
- キーボードからリボンのアイテムにアクセスできるようになりました。
- クイックアクセスツールバーに対して、無効なリボンのアイテムやドロップダウン型のリボンのアイテムを追加および削除できるようになりました。
- 未保存の検索結果を終了できるようになりました。未保存の検索結果を終了するには、その検索結果をControlキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、コンテキストメニューから**検索結果の削除**を選択します。
- ワークスペースブラウザウィンドウで、プロジェクトのすべてのレイアウトをプレビューできるようになりました。
- リンクが含まれているプロジェクトを復元した場合、そのプロジェクトにリンクされている最新バージョンのアーティクルと画像はリンクが保持されます（ただし、以前のバージョンに戻した場合は、アーティクルと画像のリンクはすべて失われます）。

QPS Web Hubの変更点

QPS Web Hubの変更点は、以下のとおりです。

- QuarkXPressプロジェクトの編集とチェックインができるようになりました。

このバージョンにおける変更点

- 複数の印刷レイアウトがあるプロジェクトファイルをチェックアウトする場合、編集するレイアウトを選択できます。
- QPSに保存されているテンプレートからプロジェクトを作成できるようになりました。
- 条件付きスタイル、箇条書き記号スタイル、箇条書き自動番号スタイル、アウトラインスタイルを使用できるようになりました。
- アーティクルテンプレートのチェックアウト、編集、チェックインができるようになりました。
- 保存済みの検索結果をOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックして、名前の変更や削除ができるようになりました。
- 前回のログオンで最後に選択したコレクションや検索ノードを、QPS Web Hubで記憶できるようになりました。
- プロジェクトやアーティクルに対する**元のアセットの取り込み**の権限を、QPS Web Hubで優先できるようになりました。
- プロジェクトに対する**他のユーザーに割り当てられているアセットをチェックアウト**や**別のユーザーのチェックアウトを上書き**の権限を、QPS Web Hubで優先できるようになりました。
- コレクションテンプレートに対する**作成／設定**の権限を、QPS Web Hubで優先できるようになりました。
- 検索結果に対する**作成／設定**の権限がQPS Web Hubユーザーにない場合は、検索結果の作成はできなくなりました。
- テキスト編集ウィンドウのバックグラウンドカラーのデフォルト値を指定できるようになりました。
- アセットをOptionキーを押しながらクリックするか、または右クリックして**再度索引を作成**を選択することによって、いつでもアセットの索引を再作成できるようになりました。
- **サブコレクションペイン**と**検索結果ペイン**で、コレクションに対するコンテキストメニューのコマンドを使用できるようになりました。
- アーティクルやプロジェクトテンプレートをPDFファイルとして取得できます。
- プロジェクトテンプレートをAdobe® Flashファイルとして取得できます。

QPS XTensionsソフトウェアの変更点

QPS Connect Clientの変更点は、以下のとおりです。

- 新しい**画像をリンク**コマンドと**画像を置換**コマンドでは、ダイアログボックスを表示して、簡単に、QuarkXPressやQuarkCopyDeskで選択した画像コンポーネントや直接リンクに対して、画像のリンクや置換ができます。
- QPSに保存されているテンプレートからプロジェクトやアーティクルを作成する場合は、新しいダイアログボックスによって、必要なテンプレートを簡単に見つけることができます。
- **ワークスペースブラウザ**パレットからページ上の画像ボックスまたは空白部分に画像をドラッグしてQuarkXPressで画像ボックスに画像をリンクすると、いつでも画像が直接リンクとしてリンクされるようになりました。

- アイテムを選択して**削除**を押し、**続ける**をクリックすることによって、QuarkXPressのアイテムの削除と分離ができるようになりました。

既知および解決済みの問題

このバージョンのソフトウェアに存在する既知の問題および解決済みの問題の一覧については、QuarkのWebサイト (www.quark.comまたはeuro.quark.com) にアクセスしてください。

Quarkへの連絡

このソフトウェアのインストール、設定、または使用方法についてのご質問は、Quarkにお問い合わせください。

南北アメリカ

企業向け製品（QPSおよびQuarkXPress Server）のテクニカルサポートについては、800.788.0045（月～金、午前7：00～午後6:00、米国山岳時間）までお電話でお問い合わせいただくか、またはenterprisesupport@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

デスクトップ製品（QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk）のテクニカルサポートについては、800.676.4575（月～金、午前7：00～午後5:00、アメリカ山岳部時間）までお電話でお問い合わせいただくか、またはtechsupp@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

製品情報については、Quarkウェブサイトwww.quark.comをご覧ください。または、cservice@quark.com宛てに電子メールでお問い合わせください。

南北アメリカ以外の国々

英語のテクニカルサポートの電話での受付時間は、中央ヨーロッパ時間の月～金、8:30～17:30です。電子メールでのお問い合わせの宛先は、enterprisesupport@quark.comです。

オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、およびイギリスでは、電話で00800 1787 8275に問い合わせてください。南北アメリカ以外のその他すべての国では、以下の番号にお問い合わせください。

- ベルギー：0800.77.296
- フランス：0800.91.3457
- ドイツ：0800.180.0101
- アイルランド：1800.55.0241
- イタリア：800.87.4591
- 日本：00531.13.1492
- ルクセンブルグ：8002.3861
- ノルウェー：800.1.4398

QUARKへの連絡

- スペイン : 900.941.328
- スウェーデン : 020.790.091
- スイス : 0800.55.7440
- イギリス : 0808.101.7082

製品情報については、Quarkウェブサイト euro.quark.com をご覧ください。または、eurocservice@quark.com 宛てに電子メールでお問い合わせください。

オーストラリア

テクニカルサポートについては、1 800.670.973（月～金、午前10:00～午後7:00、シドニー時間（AEST））にお電話でお問い合わせいただくか、または austechsupp@quark.com 宛てに電子メールでご連絡ください。

法律上の注記

© 1986-2011 Quark, Inc. and its licensors. All rights reserved.

次の米国特許によって保護されています。5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843、およびその他の出願中の特許。

Quark、Quarkロゴ、QuarkXPress、QuarkCopyDesk、Quark Publishing System およびQPSは、Quark Inc.とQuark関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。